

金沢城公園 情報発信計画

Kanazawa Castle Park Information Dissemination Plan



目次

1 趣旨	1
2 金沢城の価値、魅力	2
3 現状の把握（来園者の動向等）	4
4 課題と対応方針	8
5 課題に対応した情報発信の方法	12
6 実施計画	22
資料編	24
検討会の開催概要	24
アンケート調査結果等	25
(1) 日本人観光客	25
(2) 金沢城大学参加者	30
(3) 金沢城体験ツアー参加者	32
(4) ヤフー・データリサーチ DS.INSIGHT	33



1 趣旨

趣旨、検討体制

趣旨

平成13年に石川県営公園として一般開放された金沢城は、現在では兼六園と並ぶ観光・交流の拠点となり、多くの方に親しまれています。

本計画は、多くの方に金沢城への関心を持っていただき、理解を深めていただくための情報発信の方法について、現状の課題を踏まえ取りまとめたものです。

計画の取りまとめにあたっては、歴史、建築、国際交流など各分野の有識者等による検討会を開催し、広く意見を伺い検討を進めました。

検討体制

事務局：石川県土木部公園緑地課

会 議：金沢城公園情報発信計画検討会



2 金沢城の価値、魅力

金沢城は、城跡の史跡としての価値、魅力だけではなく様々な魅力を合わせ持っています。来園者の様々なニーズに合わせた情報発信が求められます。

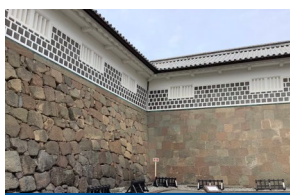
史跡としての価値、魅力

金沢城は、江戸時代を通じ最大の大名であった加賀藩前田家の居城となった近世城郭です。明治時代以降の変遷により、江戸時代の城郭建造物は石川門など3棟を残し失われましたが、良好に残る往時の地形や多種多様な石垣など、「金沢城跡」として国史跡に指定され、国内を代表する近世城郭としての価値や魅力を有しています。

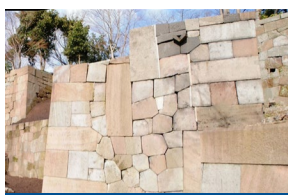
■多種多様な石垣



東の丸北面石垣



石川門石垣



色紙短冊積み石垣



三十間長屋石垣

■堀



二の丸と三の丸を隔てる内堀

■現存する城郭建造物（重要文化財）



石川門
天明8年(1788)建設



土蔵(鶴丸倉庫)
嘉永元年(1848)建設



三十間長屋
安政5年(1858)建設

2 金沢城の価値、魅力

金沢の歴史の重層性を表す象徴的な場

近世城郭以前は、「百姓の持ちたる国」として知られる一向一揆の拠点である金沢御堂が置かれました。また、明治時代以降は陸軍第九師団を中心に軍隊の拠点となり、第二次世界大戦後は金沢大学の城内キャンパスとしての歴史を有しています。

城郭としての歴史だけでなく、金沢の歴史の重層性を表す象徴的な場所であることが、金沢城の特色です。



陸軍時代の建造物(旧第六旅団司令部庁舎)



金沢大学城内キャンパス全景

観光・交流の拠点、県民の憩いの場

年間来園者数は200万人を超え、兼六園と合わせ金沢市中心部の観光拠点であるだけでなく、貴重な緑の空間として、近隣住民をはじめとする多くの県民の憩いの場となっています。

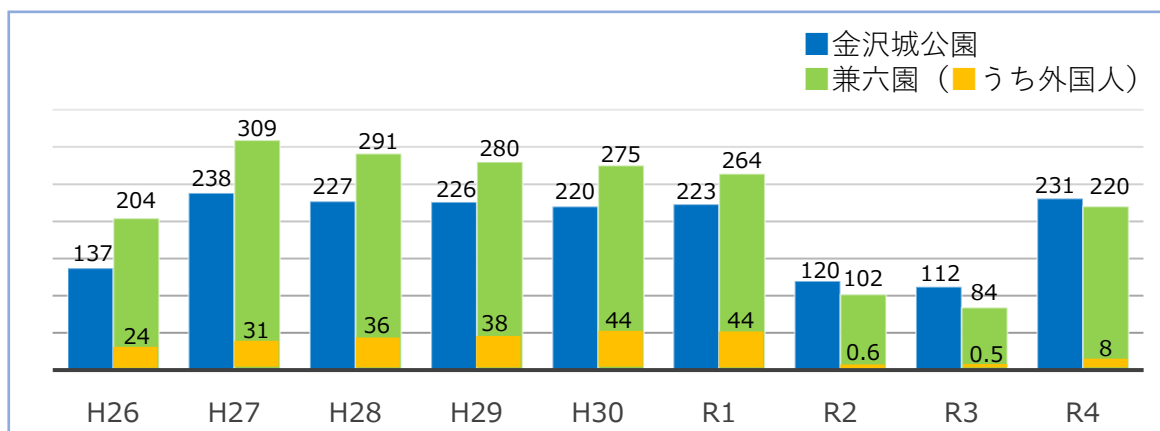


新丸広場の遠足利用



消防出初式

来園者数の推移（単位：万人）



3 現状の把握（来園者の動向等）

情報発信を効果的に行うためには、情報の受け手側の関心や行動を把握し、求められている情報を発信することが重要です。検討にあたり、アンケート調査やビッグデータを活用した現状把握を行いました。

現状把握のための調査

● 入口別来園者数の計測

令和5年7月18日(火)～24日(月)実施。

金沢城公園の全入口（石川門口、鼠多門口、黒門口、大手門口、玉泉院丸口）において来園者実数を計測。

● 日本人観光客アンケート調査

令和5年9月30日(土)実施。

主要な入口である石川門口と鼠多門口において、園内観覧を終えた観光客を対象に聞き取り調査を実施。 有効回答数 94件（石川門口61件、鼠多門口33件）

● 「金沢城体験ツアー」参加者アンケート調査

令和5年7月から10月にかけて開催した、発掘調査や伝統技術の体験イベント参加者を対象に実施。 有効回答数 252件

● 「金沢城大学」参加者アンケート調査

令和6年2月2日(木)に開催した公開講座参加者（ボランティアガイド、一般）を対象に実施し、案内した観光客の関心や行動を調査。

有効回答数 89件

● ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

検索サイトYahoo! JAPANユーザーからのデータを統計化し、関心度や行動、属性などをビッグデータ化したもの。（令和5年4月～12月のデータを参照、調査日:令和6年3月8日）

3 現状の把握（来園者の動向等）

来園者の動向

来園動機（期待していたこと）※

金沢城公園を訪れた理由として、金沢城の歴史を知りたい、城の迫力を感じたいという方が多くみられます。一方で、兼六園を主な目的地とし、強い動機を持たずに訪れる方も多くいました。

日本人観光客

「歴史を感じたかった」48%、「城の迫力を感じたかった」42%。
「兼六園来園にあわせて訪れた」が32%。

ボランティアガイド利用者

「金沢城の城郭や建造物」「前田家・百万石の歴史を感じたい」が多い。
「写真撮影スポットとして」も多く挙がっている。

※複数回答可

金沢城公園の平均滞在時間

滞在時間の平均は49分。30分以内が全体の4割強を占め、滞在時間は短い傾向がみられます。

日本人観光客

「30分以内」41%、「31～60分」43%、「61分以上」16%。

金沢城公園の満足度、魅力を感じた施設

満足度は、「満足」「やや満足」で9割を超え、非常に高くなっています。園内で魅力を感じた施設は、三の丸広場周辺の施設を回答される方が多くいました。

日本人観光客

・満足度

「満足」62%、「やや満足」35%。

・魅力を感じた施設※

「五十間長屋」27%、「三の丸広場」10%、
「石川門」7%、「河北門」6%、
「全体的に良かった」46%。

※複数回答可



日本人観光客アンケート調査

3 現状の把握（来園者の動向等）

来園者の動向※

※複数回答可

● 金沢城公園の魅力

石垣、歴史的建造物、復元建造物、景観が上位に挙がり、城郭の歴史を感じられることが魅力になっています。

● 金沢城大学参加者 [ボランティアガイド]

「石垣」44%、「歴史的建造物と復元」42%、「広大な敷地と自然」20%。

● 金沢城体験ツアー参加者

「重要文化財建造物」58%、「石垣」55%、「復元建造物」46%。

● 金沢城公園の改善点

施設の魅力や観覧順路の案内が不足しているという意見が多く挙げられました。また、展示や休憩施設の充実を求める意見も多くありました。

● 日本人観光客

「順路がわからない、どう見ればよいかわからない」19%、「天守がない」11%。

● 金沢城大学参加者 [ボランティアガイド]

「情報提供の充実」26%、「休憩施設の充実」20%、「施設内の展示の改善」18%。



日本人観光客アンケート調査

● 金沢城大学参加者 [一般参加者]

「施設の整備・拡充」23%、「情報提供・案内ルートの改善」18%、「イベントの充実」8%。

● 滞在時間を延ばす方法

滞在時間を延ばすための工夫として、案内の改善や施設の充実に関する意見が多く挙げられ、改善点と一致する結果となりました。また、情報技術の活用に関する意見が挙げられました。

● 金沢城大学参加者 [ボランティアガイド]

「インフォメーション・案内の改善」20%、「情報技術の活用」14%、「ガイド教育の向上」14%。

● 金沢城大学参加者 [一般参加者]

「施設の充実」23%、「イベントの充実」23%、「ガイドサービスの充実」18%。

3 現状の把握（来園者の動向等）

来園者の動向※

※複数回答可

参加したいイベント

特別公開や現場公開など、普段体験できないことを現地で体験できるイベントが求められています。

金沢城体験ツアー参加者

「重要文化財の特別公開や解説」、「復元工事や修理工事の現場公開」、「埋蔵文化財調査の見学や出土品の解説」、「石垣の歴史や技法を学ぶ」など。
「また参加したい」や「毎年実施してほしい」など、体験ツアーの継続実施を求める意見もあった。



金沢城体験ツアー

金沢城の情報入手経路

訪れる前の情報入手経路としては、インターネット経由が主流となり、若い年代ではSNSの利用率が高い傾向があります。

日本人観光客

年代別の情報入手経路は、29歳以下では「Instagram」、40歳以上では「ウェブサイトのキーワード検索」、60歳以上では「旅行ガイドブック」が多い。

周辺文化施設への来訪

兼六園への来訪率は8割を超え、一体の観光施設として捉えられています。一方で、その他の周辺文化施設への来訪率は低いことがわかります。

日本人観光客

- ・金沢城公園の他に訪れた（訪れる予定）施設
「兼六園」82%、「金沢21世紀美術館」44%、
「尾山神社」43%、「県立美術館」4%、
「県立歴史博物館」3%、「石川四高記念文化交流館」3%。



県立歴史博物館

金沢城への関心

全国的にもトップクラスの関心度を有する兼六園と比較すると、金沢城への関心度はやや低いと考えられます。

ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT (WEB検索ボリュームR5.4～R5.12、単位：人)

- ・「庭園」検索ボリューム 単位：人
兼六園 114,400 後樂園 104,000 栗林公園 59,400 偕楽園 44,000
- ・「城」検索ボリューム 単位：人
姫路城 390,500 名古屋城 249,500 大阪城 224,100 金沢城 42,800

4 課題と対応方針

現状の課題と対応方針 ①

来園前 における課題

- 明確な動機を持たず、兼六園を主な目的地とし、その際に金沢城に来訪する方が30%を超え、滞在時間も30分以内の方が40%を超えます。
- 一方で来園の満足度は非常に高く、97%の方が満足と回答しています。「時間がなかった」という意見は、来園して魅力を感じたが十分な滞在時間を取れなかったためとも考えられます。

- ▶ 旅行前に金沢城の魅力を理解いただき、十分な滞在時間を確保していただくための情報発信が必要。
- ▶ 来園者が情報入手に用いるインターネットを活用した発信や周辺文化施設との連携が効果的。



多くの来園者が情報入手手段とする公式ウェブサイトは、わかりやすい発信が必要



無料配布のガイドマップで兼六園との位置関係は把握できるが、一体的な利活用の提案は不足

対応方針

- 来園前に得られる情報の充実
- 兼六園や周辺文化施設との連携強化

4 課題と対応方針

現状の課題と対応方針 ②

来園時 における課題

- 三の丸広場など入口周辺だけを観覧、写真撮影し、園内の様々な魅力に触れることなく退園される傾向が見られ、五十間長屋に入れることを知らない方も30%を超えます。
- 体験型のイベントなど、金沢城ならではの楽しみ方を求める意見があります。

- ▶ 園内の動線や施設の案内が十分ではなく、初めて来園された方に魅力や楽しみ方が伝わっていない可能性があり、効果的な情報発信が必要。
- ▶ わかりやすい情報発信や快適に園内を楽しんでいただく手段として、デジタル技術の活用や休憩施設の充実が効果的。



同一時間帯の三の丸広場と二の丸広場の比較

(石川門に近い三の丸広場の方が人の流れが多く賑わう)

対応方針

- 園内における案内の充実
- 復元・復旧の取り組みの公開
- デジタル技術の活用

現状の課題と対応方針 ③

来園後
における課題

- 園内では実物にふれることで、他の手段では得られない経験ができる一方、時間の制約など、学びや理解を深めるには限りがあります。
- 近年、SNSなど来訪者が情報の発信者となる発信が、関心を高め来訪者の増加につながる有効な手段となってきています。

- ▶学びや理解を深めるための詳しい資料等の公開、提供が必要。
(主にインターネットを活用)
- ▶来園者が参加し、発信しやすい環境づくりが効果的。

資料や研究成果の公開



御城中言分基絵図

大分類：絵図
中分類：金沢城
小分類：全域図
資料名：御城中言分基絵図



金沢城を探る 「石垣の博物館」その技と意匠

大分類：刊行物
中分類：金沢城調査研究パンフレット
資料名：金沢城を探る 「石垣の博物館」その技と意匠

対応方針

- 資料や記録等の公開（デジタルアーカイブの充実）
- 参加型の取り組み、発信しやすい環境づくり

4 課題と対応方針

現状の課題と対応方針 ④

文化施設間の 回遊性の課題

- 観光客にとって、兼六園と金沢城はひとまとめの施設として認識されています。
- 中心市街地の文化施設では、兼六園、金沢城、金沢21世紀美術館の来訪者が突出しています。



- ▶兼六園と金沢城は歴史的にも不可分の施設であり、一体的な情報発信が必要。
- ▶金沢城は中心市街地の各文化施設と歴史的、文化的な繋がりを持っており、施設間の回遊性を高める取り組みが、観光客の満足度を高めるうえでも重要。

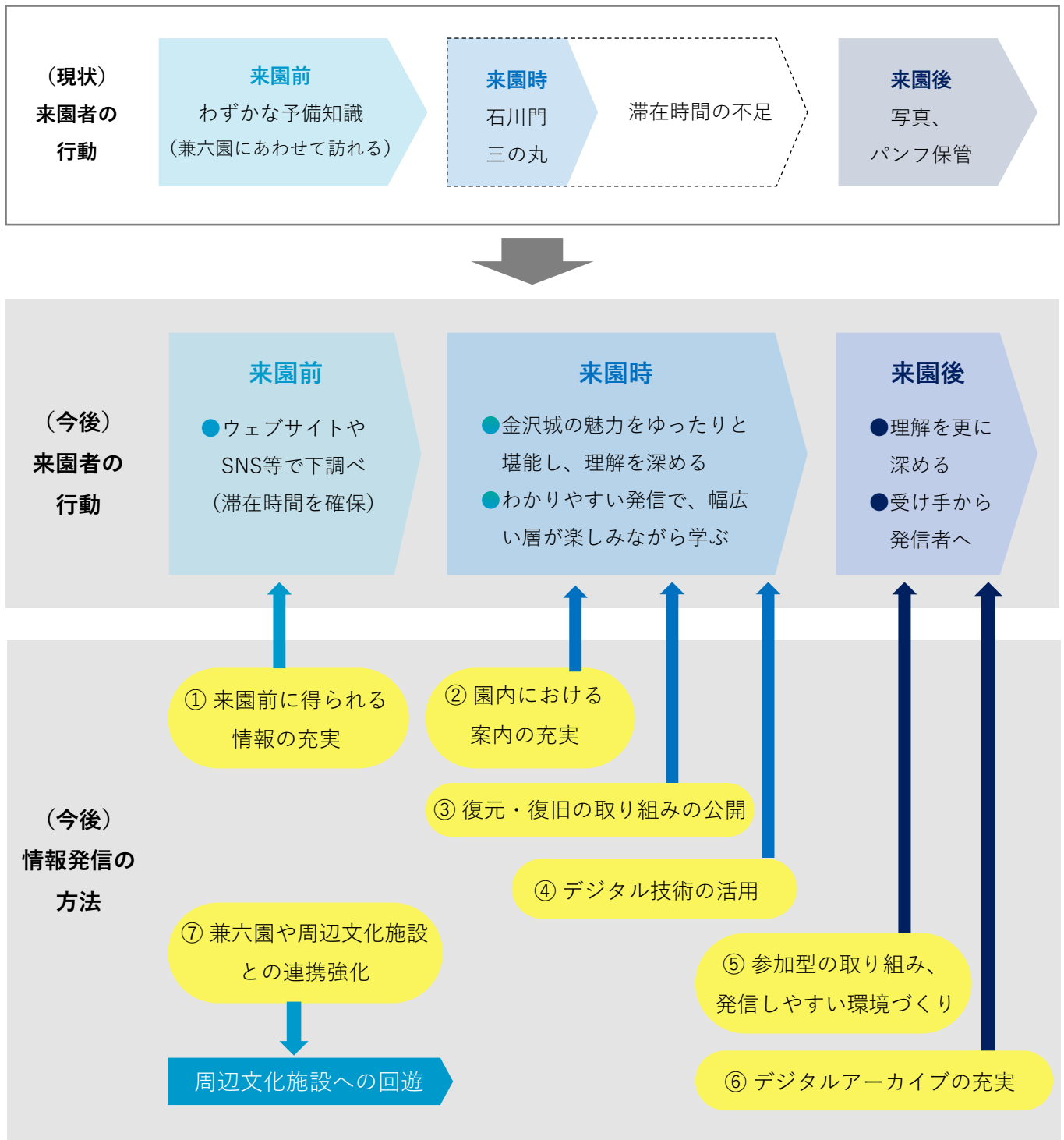
対応方針

- 兼六園との連携強化
- 周辺文化施設との連携強化

5 課題に対応した情報発信の方法

現状と今後の方向性

今後の情報発信にあたっては、前章までの課題と対応方針を踏まえ、来園者の理解がより深まり、満足度を高められる方法により行います。



5 課題に対応した情報発信の方法

① 来園前に得られる情報の充実

公式ウェブサイトやSNSを活用した情報発信の充実により、来園前の下調べや滞在時間の確保に役立つ発信を行います。

● 公式ウェブサイトの充実

園内の魅力、順路・コース、所要時間など、下調べに必要な情報をわかりやすく提供。スマートフォン操作に対応したレイアウトや多言語への対応など、閲覧しやすいサイト運営に努める。

また、兼六園公式ウェブサイトとの一体的な連携を進める。

例)

- 標準的な順路や所要時間の提供
- 二の丸御殿の復元整備など、現在の状況を発信し、来園動機を高める



公式ウェブサイト（現状）

● SNSによる発信

イベント案内の公式SNSによる発信など、様々な手段により、リアルタイムな発信に取り組む。

例)

- 最新の情報や参加できるイベント案内の提供



石川県公式 X

周辺文化施設と連携し、相互利用を促進します。

● 周辺文化施設との連携

兼六園や中心市街地の文化施設との連携に取り組み、相互利用を促進する。

例)

- 兼六園公式ウェブサイトとの一体的な連携強化
- スマートフォンアプリ等を活用した情報提供
- 金沢城や加賀藩に関連する周辺文化施設との、ウェブサイト相互リンク、パンフ等の相互配架

5 課題に対応した情報発信の方法

② 園内における案内の充実

目的に応じた順路の設定やガイダンスの充実、サイン・案内所・建造物など、各施設が連携した案内により、金沢城の魅力に触れていただきます。

● 順路の設定

各案内所・休憩所において、目的に応じたコースの設定や所要時間、バリアフリー案内などを提供し、効率よく園内を楽しんでいただく。

例)

- 石垣、建造物、庭園など目的に応じたコース
- 短い時間で楽しめるコースやバリアフリーに配慮したコース
- 令和6年能登半島地震により損傷した石垣などの復旧の過程を見学できるコース

● 各施設が連携した案内

サイン、案内所、展示・ガイダンス施設、復元建造物、現存建造物の総合的な連携・分担により、歴史の物語を構成する。

例)

- 園内各施設における案内の内容を横断的に再構成。
- 多様な来園者属性に応じた案内。



案内・休憩施設

- ・入口休憩所、総合案内所
- ・玉泉庵休憩所



展示・ガイダンス施設

- ・鶴の丸休憩館

情報発信の拠点、園内巡りの出発点と位置づけ展示等を充実

園内の見どころ

- ・現存建造物（石川門、三十間長屋、土蔵、旧旅団司令部）
- ・復元建造物（菱櫓・五十間長屋等、河北門、鼠多門）
- ・石垣、庭園、遺構、自然など
- ・復元工事、石垣復旧工事の現場



三の丸周辺だけではない様々な魅力を、目的に応じて巡っていただく

5 課題に対応した情報発信の方法

理解を深める解説・展示

金沢城の歴史や人物、城内で起こった出来事など、施設案内だけではなく、歴史の正しい理解や関心を高める内容を発信する。

例)

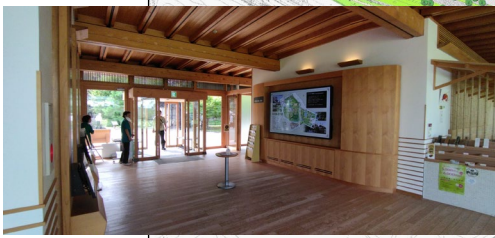
- VR映像を活用し、御殿の特徴を学んでいただく



金沢城VR



玉泉庵



鶴の丸休憩館



入口休憩所

入口付近の案内所から、展示・ガイダンスの拠点である鶴の丸休憩館へ誘導し、VR映像を活用した案内により、金沢城への理解を深めていただく。

5 課題に対応した情報発信の方法

③ 復元・復旧の取り組みの公開

二の丸御殿の復元整備や石垣の復旧など、城内各所で行われる復元・復旧の取り組みを積極的に公開・発信します。

文化財調査の公開

学術的に高い価値を有する埋蔵文化財や石垣の調査状況を、説明会やツアー等の機会に公開し、史跡への理解を深める。

例)

- 現地説明会による調査状況の解説
- 調査地仮囲いを活用した展示・サイン



埋蔵文化財調査現地説明会

復元・復旧工事の公開

伝統技術を用いて進められる復元工事の過程を進捗に合わせ公開し、関心を高める。また、損傷の見られる石垣の復旧工事の過程を公開し、史跡保存への理解を深める。

例)

- 現場内に見学施設を設け、復元されていく過程を公開
- ライブカメラを用いた発信



工事見学台の設置・公開
(鼠多門)



工事状況のライブカメラ配信
(三十間長屋修理)



令和6年能登半島地震
で損傷した石垣



石垣復旧工事

5 課題に対応した情報発信の方法

参加型、体験型のイベント

調査や工事に関連するイベントは、満足度が高い参加型や体験型の取り組みを積極的に実施し、金沢城への関心や、復旧工事への理解、復元整備への気運を高める。

例)

- 発掘調査や伝統技術の体験イベントの開催



二の丸御殿の埋蔵文化財調査

発掘調査を体験



復元建造物の建設工事

伝統技術を体験



石垣の修理工事

伝統技術を体験



パズルで楽しみながら学ぶ



金沢城VRの体験

江戸時代の金沢城を体感



5 課題に対応した情報発信の方法

④ デジタル技術の活用

年齢層や国籍など、多様な属性の来園者へのわかりやすい案内に対応するため、デジタル技術を活用した発信を行います。

サイン等へのQRコードリンク設置

サインだけではカバーできない詳しい情報や多言語の解説、動画などを、来園者のモバイル端末を利用して発信。

例)

- スマートフォンアプリやQRコードリンクによる、多言語に対応した動画・音声解説



ライブカメラ映像の配信

園内の状況をリアルタイムに体感していただくため、ライブカメラ映像を配信。見どころだけでなく、工事状況なども臨機に配信。

例)

- 園内の状況をリアルタイムに配信



YouTubeによるライブ配信

デジタル技術による利用者属性等の把握

来園者数や利用者属性の把握に、AI技術やビッグデータなどを活用する。

例)

- AI技術による来園者数の把握
- ビッグデータによる来園者の属性や行動の把握

5 課題に対応した情報発信の方法

スマートフォンアプリの配信

スマートフォンアプリを利用し、子どもが興味を持ち、ゲーム感覚で楽しみながら学べるコンテンツを発信。

例)

- VR映像による案内
- 園内を巡るデジタルスタンプラリー
(子どもがゲーム感覚で楽しみ学べる仕掛け)



スタンプラリーポイントでVRを視聴すると特典が手に入るなど、遊び感覚で楽しめる発信。

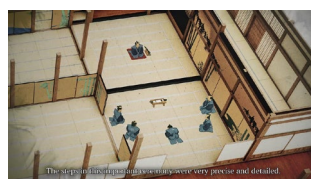
VR映像の制作・公開

質の高いVR技術の活用により、歴史の正確な理解や、あらゆる来園者にとってわかりやすい情報発信を行う。

例)

- VR映像を活用した解説動画の放映
(城や御殿の構造、特徴をわかりやすく解説)

鶴の丸休憩館のシアターでは、金沢城のVR映像を観覧でき、江戸時代の金沢城への理解を深めていただける。



二の丸御殿の外観だけでなく、内部の意匠や、御殿で行われた儀礼なども映像でわかりやすく再現。

5 課題に対応した情報発信の方法

⑤ 参加型の取り組み、発信しやすい環境づくり

参加型のイベントなど理解が深まる取り組みや、フォトスポットの紹介など、SNSで発信しやすい環境の整備に取り組みます。

● 工事や調査を体験できるイベント

伝統技術や学術調査など、通常の見学ではできない貴重な体験ができるイベントの開催により、満足度を高める。

例)

- 体験ツアー
- 工事見学会
- 調査説明会



調査地や工事現場を体験・体感できるイベント

● 発信しやすく快適な環境づくり

フォトスポットの紹介、Wi-Fi環境の整備など、SNSで発信しやすい環境づくり。快適に城内を観覧するための、休憩施設や緑陰の整備。

⑥ デジタルアーカイブの充実

資料や映像記録等を公開し、研究や教育に役立てるとともに、記録撮影を継続的に行い、発信できるコンテンツの充実に努めます。

● 歴史資料や映像記録等の撮影、公開

写真、史料、映像など、来園者への案内だけでなく、技術の継承や研究、学習教材にも資する資料の公開。

二の丸御殿の復元は全国的にも貴重な事例であり、調査や工事状況の記録撮影を継続的に実施し蓄積。



銅瓦



調査で確認された御殿の遺構

5 課題に対応した情報発信の方法

⑦ 周辺文化施設との連携強化

周辺文化施設と連携し、相互利用を促進します。

● 周辺文化施設との連携

金沢城と関連の深い周辺文化施設と合わせた観覧により、城を中心とした金沢の歴史への理解を深めていただく。

例)

- 公式ウェブサイトの相互リンク
- パンフレットの相互配架



6 実施計画

施策の実施にあたっては、既に取り組んでいるものや短期的に取り組み早期に効果を発現させるものと、整備等の進捗や他施設との調整を踏まえ中長期的な取り組みとするものに区分し進めるものとします。

短期的な取り組み

中長期的な取り組み

①来園前に得られる情報の充実

事前に情報を得るための主な手段となっている公式ウェブサイトの充実に取り組むとともに、周辺施設との連携、相互利用の取り組みを進めます。

- 公式ウェブサイトの充実
 - SNSによる発信
-
- 兼六園や周辺文化施設との連携

②園内における案内の充実

来園者の意見にも挙げられる順路の設定・案内を行うとともに、各施設が連携した解説・展示の充実を図ります。

- 順路の設定
-
- 各施設が連携した案内
 - 理解を深める解説・展示

③復元・復旧の取り組みの公開

好評を得ている参加型・体験型のイベントを更に充実させるとともに、城内各所で行われる事業の進捗に合わせ、調査や工事状況を積極的に公開します。

- 参加型・体験型のイベント
-
- 文化財調査の公開
 - 復元・復旧工事の公開

6 実施計画

④ デジタル技術の活用

鶴の丸休憩館に設置したシアターによりVR映像を楽しめる環境を整えるとともに、デジタル技術の管理運営への活用を図ります。

- サイン等へのQRコードリンク設置
- スマートフォンアプリの配信
- VR映像の制作・公開

- ライブカメラ映像の配信
- デジタル技術による利用者数、属性等の把握

⑤ 参加型の取り組み、発信しやすい環境づくり

参加型のイベントの実施や、来訪者自らが発信者となり様々な情報等を発信してもらうための環境づくりを進めます。

- 工事や調査を体験できるイベント

- 発信しやすい快適な環境づくり

⑥ デジタルアーカイブの充実

長期的・継続的な取り組みとして、資料のデジタル化や映像記録等の公開に取り組みます。

- 歴史資料や映像記録等を撮影・公開し、継続的に情報を蓄積

⑦ 周辺文化施設との連携強化

周辺文化施設と連携し、相互利用を促進します。

- 周辺文化施設との連携

検討会の開催概要

金沢城公園への関心を多くの方々に末永く持ってもらうための効果的な情報発信について、幅広い視点から意見を収集することを目的とする。

招集者

(五十音順)

藤井 讓治 (座長)	石川県立歴史博物館長 (近世歴史)
出原 立子	金沢工業大学教授 (メディアデザイン、視覚情報デザイン)
伊東 龍一	熊本大学名誉教授 (建築史)
木越 隆三	石川県近世史料編さん室長 (金沢城研究)
興津 泰則	DIBCオフィスKYOZU代表 (国際交流)
鏑 隆弘	金沢美術工芸大学教授 (環境デザイン)
中塚 健也	石川県戦略広報監
麓 和善	名古屋工業大学名誉教授 (建築史)



第1回検討会の様子

第1回 金沢城公園情報発信計画検討会

日程：令和5年7月25日 (火)

内容：座長の選任、現地確認、意見交換

(主な意見)

- 城は一般的に軍事目的と思われがちだが、金沢城はそれ以外の機能を持つ。
- 史跡としての歴史的・文化的価値や研究成果を正確に伝えることが重要。
- 園内でみられる花や風景など、今、何が見られるのかを発信してはどうか。
- 来園者数の計測や属性等の把握などを行うことが重要。
- 来園者の属性等に応じた効果的な発信が必要。

第2回 金沢城公園情報発信計画検討会

日程：令和5年11月30日 (木)

内容：情報発信計画の検討、意見交換

(主な意見)

- スクロールタイプ (スマートフォン閲覧対応) のウェブサイトへのリニューアルが必要。
- 金沢城を中心とした歴史的な物語をしっかりと作り、個人旅行者への見せ方を検討する。
- 金沢城調査研究所の成果を、丁寧にわかりやすく情報発信・公開してはどうか。
- 全く関心のない人をどうやって事前学習に引き付けるかを検討する。
- 復元に取り組む二の丸御殿の役割や、復元箇所が全体のどの部分なのかという説明が重要。
- ベンチや四阿など、休憩できる施設を増やしてはどうか。

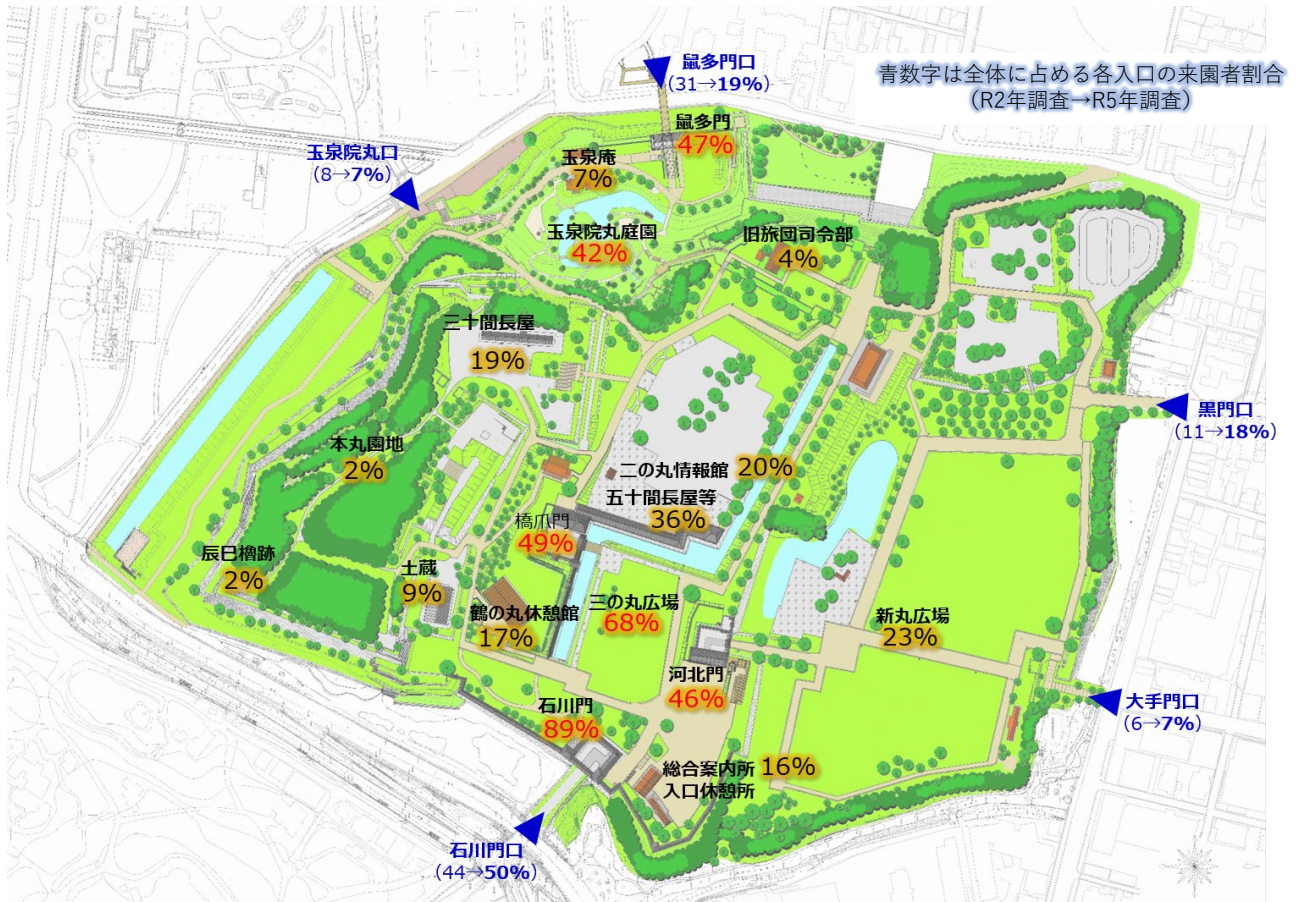


第2回検討会の様子

アンケート調査結果等

(1) 日本人観光客（入口別来園者数調査含む）

橙数字は、来園者がその施設を来訪した割合



■良かった場所・施設※

・全体的に良かった	46%	・三の丸広場	10%
・五十間長屋	27%	・石川門	7%
（内部見学あり	18%	・河北門	6%
		・橋爪門	5%
		・三十間長屋	5%

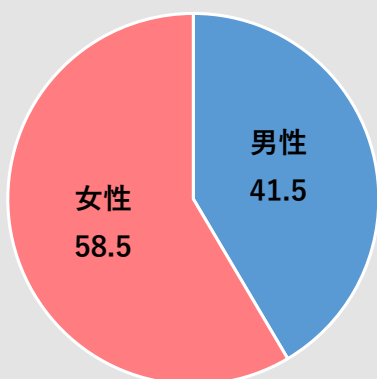
※複数回答可

アンケート調査結果等

(1) 日本人観光客

性別

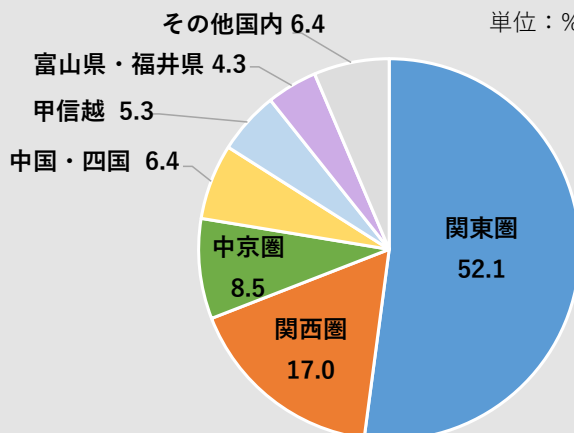
単位：%



女性が若干多い。

居住地

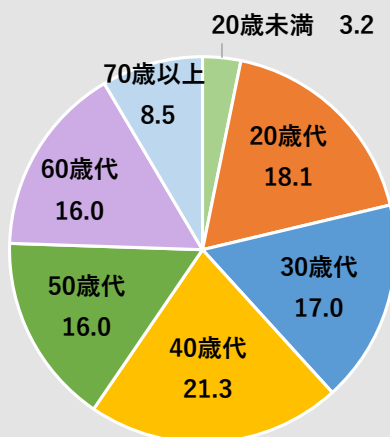
単位：%



関東圏が半数近くを占め、次いで関西圏、中京圏。

年齢

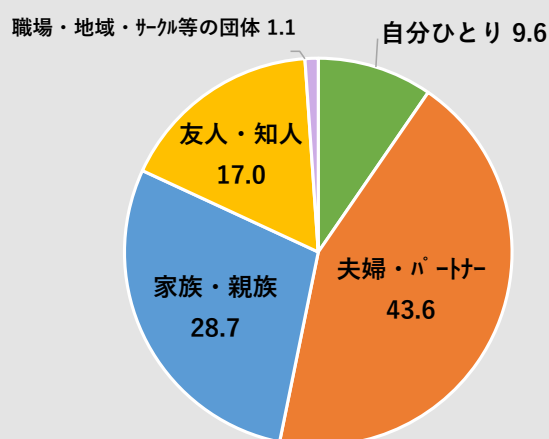
単位：%



20歳代から60歳代まで幅広い。

来訪形態

単位：%



「夫婦・パートナー」が約4割を占め、次いで「家族・親族」「友人・知人」。

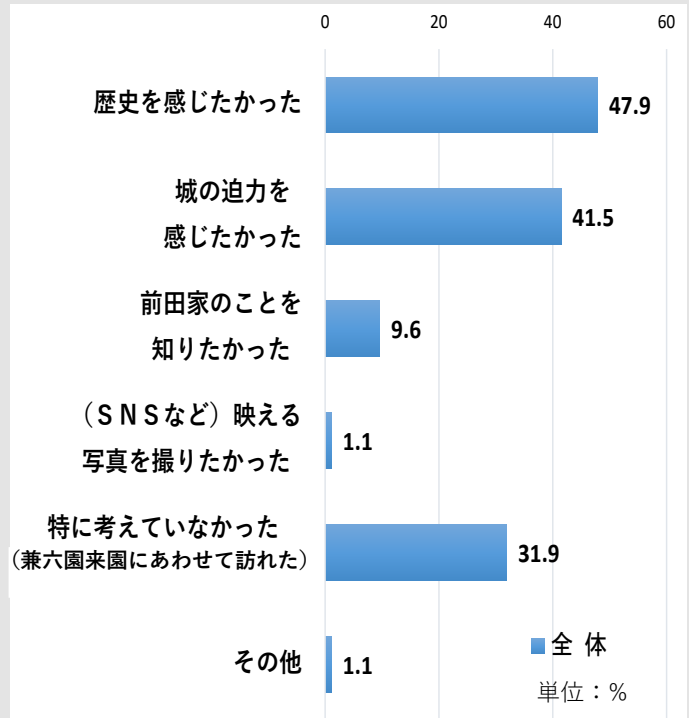
アンケート調査結果等

(1) 日本人観光客

来園動機※

「歴史を感じたかった」が約5割。
 「城の迫れを感じたかった」が4割。
 「兼六園来園にあわせて訪れた」が3割。

※複数回答可

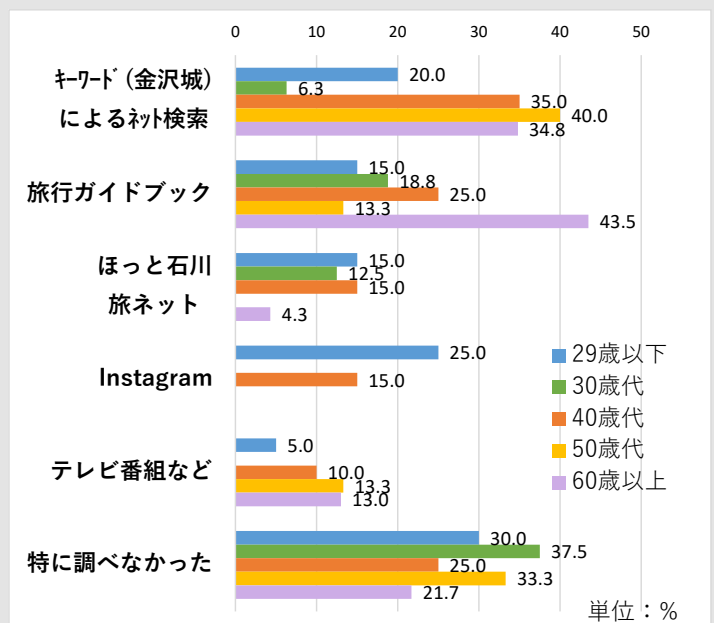


金沢城の情報入手経路※

(年齢別)

「キーワード検索」は40歳以上、
 「旅行ガイドブック」は60歳以上、
 「Instagram」は29歳以下で多い。

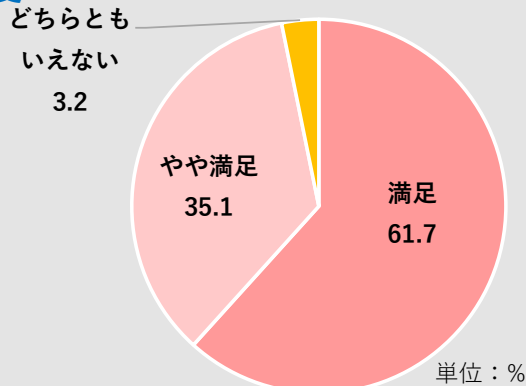
※複数回答可



アンケート調査結果等

(1) 日本人観光客

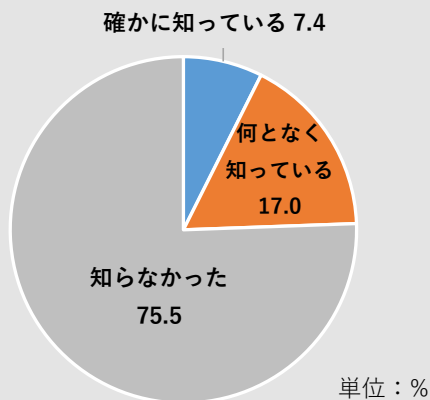
金沢城公園の満足度



満足度は非常に高いが、インフォメーションに関連する要望が上位にあがっていることに留意する必要がある。

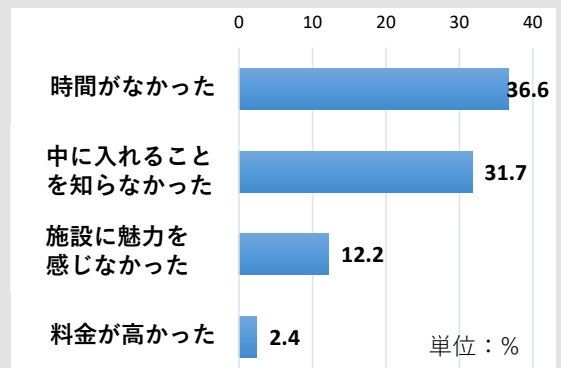
[改善点など（上位）]

- ・順路がわからない・どこを見れば 7名
- ・よいかわからない 4名
- ・天守がない 4名
- ・時間がなかった 4名
- ・バリアフリーじゃない 2名

二の丸御殿復元整備
認知状況

二の丸御殿復元の認知は全体の1/4程度。

五十間長屋に入らなかった理由※



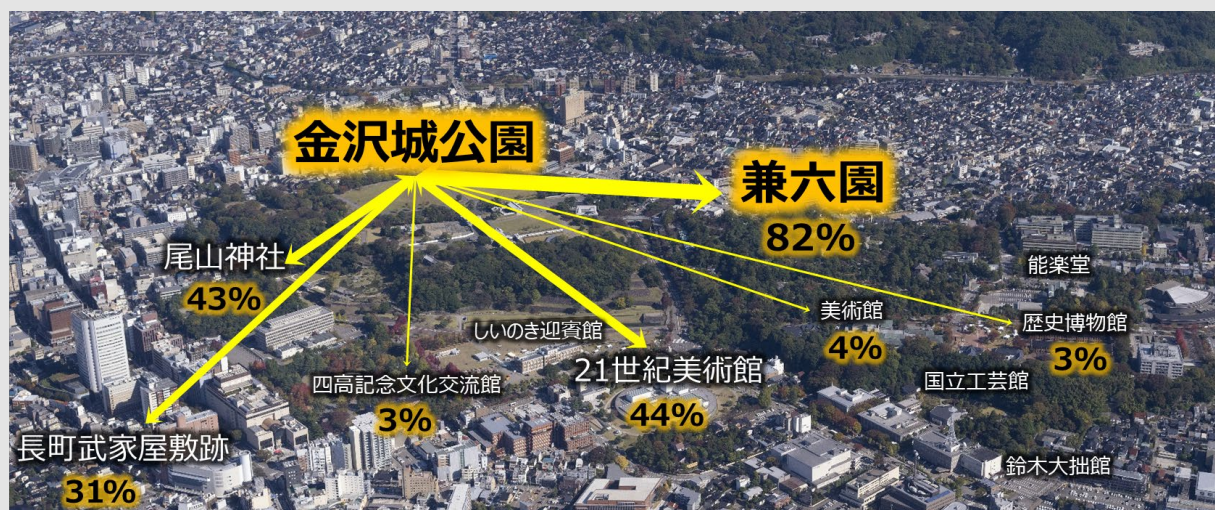
「時間がなかった」「入れることを知らなかった」など、園内施設等の情報を伝えきれていない。

※複数回答可

アンケート調査結果等

(1) 日本人観光客

金沢城公園来園者の周辺文化施設への来訪率※



「兼六園」が82%と特に多く、「金沢21世紀美術館」44%、「尾山神社」43%が続く。

※複数回答可

アンケート調査結果等※

（2）金沢城大学参加者（ボランティアガイド）

● 金沢城公園の魅力（上位項目）

①石垣	44%
②歴史的建造物と復元	42%
③広大な敷地と自然	20%
④前田家の歴史・文化	14%
④まちなか・アクセスの良さ	14%
⑥ガイドの存在	10%

● 案内する観光客に

期待されていたこと（上位項目）

①金沢城の城郭や建造物	42%
②前田家・百万石の歴史	21%
③写真撮影スポットとして	13%

● 滞在時間を延ばすための工夫（上位項目）

①インフォメーション・案内の改善	20%
②情報技術の活用	14%
②ガイド教育の向上	14%
④施設の改善	12%
⑤体験型イベントやエンターテイメント	10%

● 金沢城公園の改善点（上位項目）

①情報提供の充実	26%
②休憩設備の充実	20%
③施設内の展示の改善	18%
④多言語対応	12%
⑤ガイドサービスの向上	10%

※複数回答可

アンケート調査結果等※

（2）金沢城大学参加者（一般参加者）

● 金沢城公園の魅力（上位項目）

①歴史的建造物と復元	31%
②石垣	26%
③景観と広がり的美しさ	21%
④前田家の歴史	13%
⑤アクセスの良さ	8%

● 滞在時間を延ばすための工夫（上位項目）

①施設の充実	23%
②イベント等の充実	23%
③ガイドサービスの充実	18%
④展示・情報の充実	16%
⑤自然や景観を活かす	13%

● 金沢城公園の改善点（上位項目）

①施設の整備・拡充	23%
②情報提供・案内ルートの改善	18%
③イベントの充実	8%
④広報の充実	3%

※複数回答可

アンケート調査結果等

（3）金沢城体験ツアー参加者

金沢城体験ツアー

- ・実際の工事や修理の現場を体験できるイベント
- ・令和5年7～10月に計15回開催、参加者数延べ261名



- 【内容】
- ・埋蔵文化財調査で出土した瓦の洗浄体験（二の丸広場）
 - ・鉛瓦葺き体験、梅鉢紋打ち出し体験（三十間長屋）
 - ・石垣積み体験、石を持ち上げる道具体験（丸の内園地）

● イベントの満足度

99%	・とても満足	66%
	・満足	33%

● 参加したいイベント（主なもの）

- ・重要文化財の特別公開や解説
- ・復元工事や修繕工事の現場公開
- ・埋蔵文化財調査の見学や出土品の解説
- ・石垣の歴史や技法について学ぶ
- ・様々なジャンルの専門家によるツアー

● 参加したいイベント形式

- ・体験型イベント
- ・講師の説明を聞きながら園内を巡るツアー

● 金沢城の魅力※

・重要文化財	58%
・石垣	55%
・復元建造物	46%
・歴史	38%
・玉泉院丸庭園	29%
・景観	27%
・自然	25%
・ガイドによる解説	19%
・埋蔵文化財調査	18%
・散歩・ウォーキング利用	18%

※複数回答可

● イベント認知経路

・家族・知人から	30%
・チラシ	22%
・金沢城HP	19%
・LINE	11%
・新聞	9%
・X（旧twitter）	5%

アンケート調査結果等

（４）ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

< 関心の高さ（WEB検索ボリュームR5.4～R5.12） > 出典：ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

単位：人※		
1位	姫路城	390,500
2位	名古屋城	249,500
3位	大阪城	224,100
4位	犬山城	182,300
5位	二条城	180,400
6位	松本城	171,500
7位	彦根城	156,900
8位	熊本城	135,300
9位	小田原城	130,000
10位	首里城	117,600

11位	五稜郭	109,600
12位	松江城	80,700
13位	竹田城	72,100
14位	松山城	71,500
15位	駿府城	70,900
16位	江戸城	45,700
17位	上田城	45,500
18位	金沢城	42,800

単位：人※		
1位	兼六園	114,400
2位	後楽園	104,000
3位	栗林公園	59,400
4位	偕楽園	44,000

兼六園は三名園＋栗林公園の中で最も高い検索数であり、民間の庭園特集などでも最上位。
（話題性、関心の高さ）



兼六園

現存天守を持つ城郭や、全国的に知名度の高い城を抽出

※人数は、DS.INSIGHTに基づく推定検索者数（ユニークユーザー）

金沢城は天守や御殿のない城としては上位に挙げられるが、全体ではトップ10に入っていない。

石川県土木部公園緑地課

発行：令和6年3月